



VOICE

地域医療を体感！低学年でもたくさん経験できます！

小向 心晴
(2年・青森県・地域枠)

子どもから高齢者まで幅広い世代に親しまれる病院で、和やかな雰囲気がとても良かったです。講義で習っただけで具体的なイメージがつきにくかった地域医療やチーム医療を、実践している現場に入りながら見ることで3日間本当に楽しかったです。指導医の先生も他の先生方も実習生に優しく、手厚い指導をしてくださりました。

どうしてその実習先を選びましたか？

先輩のおすすめを参考にしながら

私自身が自動車を持っていないため公共交通機関で行けること、また複数の診療科がある病院に絞って実習先病院それぞれを比較しながらいくつかに希望を出しました。事前のワークショップで先輩方に院内の雰囲気が良いと教えていただいたことが決め手となりました。

実習先の良かったところは？

地域医療を自ら体験できた

問診・診察や手技まで、体験したいことは何でも体験させてくださったところ。知識がなかったり具体的に目指す診療科がなかったりした私でも有意義な実習にすることが出来たと感じています。また、1人の先生が複数の科を1日で行き来するため、豊富な経験ができました。多様なニーズに応えながら診療する、地域医療の具体的なイメージを掴むことができました。

実習の
流れ

三戸中央病院の実習スケジュール

内科実習

午前

回診・手術見学

08:30 超音波検査・内視鏡検査

内科外来

12:30 昼休憩

偶然にも2日目には製薬会社さんの説明会があったので先生と参加してお弁当をいただきました！

エコーの機械を実際に触らせていただきました。

外来見学では、問診の最初の聞き取りのみ体験しました！（とても緊張しました…）もちろん初めてでしたが、先生にも優しくフォローしてもらえるので安心です！



午後

訪問・出張診療

13:30 病棟回診 (Day1)

訪問診療 (Day 2)

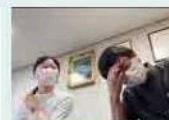
田子診療所へ出張 (Day 3)

16:00 写真見せ見学

17:00 先生との振り返り

18:00 地域医療指導員と会議 (Day 1)

問診での経験を具体的に振り返ることで学習を深めることができました！スタッフや薬などの資源が少ない状況の中、看護師と医師2人の知識や技術を活かしてスムーズな診察が行われていました。チーム医療を体感しました。



Q & A

実習参加者の声

Q1. どのような医師になりたいですか？

この先生になら任せてもいいかな、と患者さんに思ってもらえる医師になりたいです。

Q2. 最初に立てた目標は？

実習前にあったワークショップ（講演会）でのお話を参考に目標をいくつか考えました。患者さんと話す時に医師が気をつけることを知りたいと思いました。また具体的な医師の仕事（どんなことをしているか）、医師の1日のスケジュールの一例を知り、クリクラなどの将来の実習や実際に働く時のことを具体的に想像したいと思いました。

Q3. 三戸中央病院までのアクセスは？

弘前駅～八戸駅を電車と新幹線で1時間30分、または在来線のみで3時間弱）、八戸駅～三戸駅を電車で20分、三戸駅～三戸中央病院を徒歩10分でした。三戸駅から病院までは平坦な道で特に迷う要素が無いため、初めての人でも徒歩10分で行けます。

Q4. 実習に向けて準備したことは？

特にありません！

Q5. 宿泊場所はどんなところ？

家電が基本的に揃っており、アパートのような寮でした。事前に何があるかはメールで教えてくださいますが、それらに加えて、シャンプーコンディショナーやハンドソープなども用意がありました。

Q6. 食事はどうしましたか？

寮から徒歩すぐのところコンビニがあるので、集合時間8:15で朝食の支給が8:00だったことから、朝食のみコンビニで購入しました。支給されたご飯はどれも美味しかったです。

Q7. 食費はどれくらいかかりましたか？

朝食は500円強で購入しました。昼食352円、夕食341円。初日の昼食は製薬会社のお弁当をいただいたためお金はかかりませんでした。

Q8. 持ち物は？

KC、実習用の白い靴、名札、メモ帳、スマホを持っていきました。聴診器とペンライトがあれば持参してくださいと指示がありましたが持っていませんでしたので持参していません。メモ帳には分からなかった病名や薬を調べて書き込みました。実習中に薬や病名、治療法などをスマホで調べてよかったので、スマホも使えると便利です。

Q9. 衣類以外の持ち物は？

バスタオルは持参する必要がありました。用意はありましたが、アメニティ用品は全て持参しました。

